

雅言通載抄結
四

ホ 2

606

4止

門 初 2
 孫 606
 卷 4 止

雅言通載抄下卷

脚結部

安

あり 在記紀 有日上

あひ 間記紀 際紀一十三才

あれハ 賣迹志阿礼婆記上チ 知杼理迹阿良米日上

ありハ 那杼理尔阿良牟遠記上チ 亦有日上

ありハ 異佐誤阿礼椰紀十オ 俱伊播阿羅珥茹日廿七十四ウ

ありハ 御身不敢賜有礼続十七 礼今本良ニ作レルハアヤマリナリ

雅言通載抄卷之四

結 一



出雲國正六位上智伊神斐伊神

三代十五
十三才

按今紀ノ国津ノ国ナト去テ紀伊ト去テ笑ハ却テ非ナルヘシ
但伊ヲ上声ニ唱テキイトナカク去心ニ去ナルヘシ

いや

古毛万久良以也

神薦枕

○ 宇

い

内中

記紀

伊麻紀能禹知播

紀廿六
五ノウ

い

古末津加宇礼尔

東駿

○ 衣

え

見炙

記上

所燒

紀一

えむ

佐加衣牟

風我門

え

穴門直踐立

紀八

按アタヒヲ約テアテトイヒアテヲ約テエト去
ナリサレハアタヒト去モエト去モ同シアタヒニ誤

え

韓白水郎嘆

紀十五

按エハイネノ約ニテハ夕縮ト
イフコトナレシ

え

弥若敷

式八
四十ウ

○ 於

於

以下

紀廿九 按カノ假字ヲ誤タルカト思ヘトカノ意ニテハ
通ゼズ落ノ意ニヤ可考

於

於天下政置而

統十 置古本宜ニ誤レリ於ヲニトヨミテ
別ニ置而トカキタリ於ノ心ニ

於

川木乃於毛

風小車
月面

河面

和十五

於

室飲郡

式九

球磨贈於

肥風

○ 加

加

多智賀表

記上

宇加比賀登母

日上

加

那久那留登理加

記上

加

處所

已上
諸書

御舍

紀上

殿

式八

加

族

記

儻

紀十七
十三オ

衆類

日十
八ウ

儻

遊

波良加良

統廿二
七ウ

加

徒衆

紀七
四ウ

眷族

日
四ウ

加

思金神

記
上

賀泥

日下
兼

加

方

諸書

鳥智箇多能

紀九
十オ

太子御方者

記中
四九ウ

加

男莖形

古
拾

櫛形

儀六
礼服

かも 乎カモ記記哉記加母カモ記記伽茂カモ紀紀

かま 生之エミセルカマ欵カマ紀紀二二按按カ六カ六誤誤カ
かもよ 十六十六カモト訓カモト訓ヘシ
かきり 限カキリ記記純男オトノカキリ紀紀二二

かきり 加毛也カキリ催催藤生野藤生野
かぬる 難カヌル記記加泥カネ氏カネ紀紀上上九九才才

かじし 宇津呂比賀多之ウツルヨヒガタノシ神神前張前張
かき 踏登フミ村呂許志ムラロコシ記記上上廿廿才才按按カシカシコシコシ音通音通ナリ

かり 吳公多在ムカデオホカガリ記記上上廿廿八八才才
からなる 尔久可良ニクカラナクニ難ナクニ久ニ尔ニ風風越方越方

かりり 多布止可理家利タフツトカカリケリ仏仏
かむ 延表斯麻加牟エヒラシマカム記記中中九九才才
かむ 慨哉ウレキカマ紀紀三三四四才才
かむ 畧カム上上畧上ニニ引引音音足足故故ニニ畧ニククナリナリ引引ククニニ出出セリ

から 因已物而オノヨミモノニ記記中中六六十一十一
かや 之呂支由支加也シロキユキカヤ風風カロカネ

かや 於辞寐羅箇祢オノシメヒラカネ紀紀五五五五才才
かや 美飲喫哉ウメラニヨヤラフルカネ紀紀十五十五七七才才
かや 天垢地垢アメカサチカサ紀紀二二廿廿四四才才故々故々遊遊

かや 積虚曳之介キキコエノケ紀紀十十六六才才
かや 倭例播祢始柯騰ヤマトノヨロビネシカカト日日廿廿四四才才十三十三ウウ

かや 儼波企箇輸椰ケンハキカスヤ紀紀二二十六十六才才
かや 交カウ紀紀廿廿二二才才

かや 枳舸斯題キカセシテ紀紀十四十四八八才才
かや 那賀利勢婆ナカケリセハ竟竟上上

からぬ 善有良努行尔有ヨクヨクニヨクニヨクニヨクニ紀紀十十廿廿四四才才

かみ 舉騰我泚你枳謂屢箇皚比謎キリトトカキニキキニキキニ紀紀十六十六二二ウウ

かと 事母在辛加止 続十 甘ウ
かせ 曾ノ乃ト戸ヒ比ラ良カ可セ世催 東屋

かふ 加カ遠ヲ万一左サ留ル加カ尔ニ也ヤ
催妹与我 見ミ蟹カニ 新万

かふカ 於オ比ヒ毛モ川ソ久ク加カ尔ニ也ヤ
風風鴛鴛鴦鴦 一本作加祢也

からを之良万久保之加良波催 我門

かいて志太留加伊天波催 我門 垂ラカシテハ也

かは 太タ礼レ加カ波ハ 神神得得錢錢子子
かカり 許許 記記中中 九九ウ

○ 幾

き 神カ夜ヤ良ラ比ヒ尔ニ夜ヤ良ラ比ヒ岐キ 記記上上 廿廿一一オ

き 倭ワ柯カ俱ク阿ア利リ岐キ騰ト 紀紀廿廿六六 四四ウ

き 高タ支キ貴ク支キ 続続十十 廿廿一一オ
きは 髮カ友ミ際キ 加加美美 和和名名 岐岐波波 三三

○ 久

くむ 角ツ杵メ神ヒ 記記上上 一一ウ
豊ト雲ヨ野ク神モ 日日上上 装装之之部部 可可見見合合

結 六

くま 肅慎隈 紀十九 十八ウ

くま 件 記紀 等

く 表夫泥都羅々玖 記下 宣去久 枕ススウシラキシラク曼スウ

くもあひ 佐賀斯玖母阿良受 記下 八ウ

くもあふ 多布刀久毛阿留可 仏足

くも 見知乃久知 催 道口 越前 和名自余 皆同畧之

くあひ 比止乃微波衣賀多久阿礼波女 仏足

○ 計

い 意富祁久 記中 五ウ 破陪雞區 紀十ウ 多比良氣久 統十五 四ウ

い 然善 記上 二ウ い 許能波佐夜牙流 記中 十オ

い 少 統十七 十七オ 善 氣年夜 統後十二 十八ウ

い 佐斯祁流斯良迹 記中 五ウ い 字志波祁流 記上 四十二オ

い 奈利介留波 竟上 い 須美加多夫祁礼 記下 世三

い 不死坐祁理 記上 四十ウ い 阿岐良氣幾 竟下

い 宇多比都々迦美祁礼加母 記中 五ウ

けむ 麻^マ辺^ヘ受^ウ禰^ニ婆^ハ古^コ曾^ソ 記下 六オ 按マカズケレハコソナリ

けむこそ 日上

げ 次^ツ則^ノ遊^ユ

けめ 阿^ア利^リ雞^キ梅^メ 紀十二 十オ

けき 氣^キ色^シ乎^ハ 三代十七 十三ウ

けめや 奈^ナ理^リ雞^キ迷^ミ夜^ヤ 紀廿三 十七オ

けく 謀^ハ家^ケ良^ラ久^ク 統廿ノ 十二ウ

けむも 恐^コ家^カ礼^レ 統十七 廿五ウ

けむも 國^{クニ}固^{カタ}米^メ造^{ゾウ} 介^ケ年^{ネン} 統後九 十オ

けむと 安^ア佐^サ計^ケ礼^レ止^ド 儀 沢田川

けむと 計^ケ加^カ礼^レ侍^シ 介^ケ留^{リウ} 倭世

けむも 于^ウ多^タ比^ヒ菟^ツ々^々伽^カ弥^ミ雞^キ梅^メ伽^カ慕^モ 紀九 十三

けむ 許^コ能^ネ美^ミ岐^キ表^ヒ加^カ美^ミ禰^ニ牟^ム比^ヒ登^ト波^ハ 記中 十一

けむり 在^{アリ} 介^ケ无^ム可^カ止^シ 統後十 十三ウ 伊^イ久^ク良^ラ止^シ利^リ介^ケ无^ム也^ヤ 神階 香取

けむと 久^ク良^ラ波^ハ斯^シ夜^ヤ麻^マ波^ハ佐^サ賀^カ斯^シ禰^ニ杼^シ 記下 八ウ

け 子^コ之^ノ一^{ヒト}本^{ツケ} 記上 七オ 宇^ウ麼^マ能^ネ耶^ヤ都^ト擬^ケ 紀十四 廿オ

けむも 安^ア所^ソ比^ヒ介^ケ良^ラ志^シ毛^モ 神篠

○ 古

こゝ 踏^{フミ}登^ト杼^シ呂^ロ詩^シ志^シ 記上 廿オ 此部カシノ件 可見合

如記紀 吐散登許曾記上

其石登記中 語等紀十 志利已所宇神

頃年三六八 比年逸十五 止祢利古无曾神梁

伊麻許曾波女知杼理迹阿良米記上

坐難波比賣其石曾社記中 阿麻美許曾神社式二

麻許曾迹斗比多麻閉記下 每面宣志 每船記上

宇知夜米許世泥記上 度志古度乃竟下

申乞止 慇懃奈 何平 怨岐所 宣所訓

氣左乃阿沙氣奈呼登以非都留逸五ノ四オ

九重塔注 桺頭之部ニ

掌多 也手 和三 按此コ 塞ノ意ナリ後世

以逮紀三 以來日十三 与シ 斯登岐許佐波記下

以來紀十三

状記紀 定其療病之方紀一 廿五才

夜都米佐須記中世ヲ 八雲立通ス 那賀那加佐麻久記上 廿二ウ

阿加陀麻波表佐間比迦礼記上 五五ウ

殊者根佐倍丹新万 下 佐邪岐登良佐泥記下 八ウ

飲朋呂伽珥枳許瑳怒紀土 按サハスヲ延タルニテ 令聞ナリ

阿佐受表勢佐記中 五ウ 挿頭ノ部ニ

伊句臂佐々紀五ウ 四ウ 于多椰濃芝作々日九 十一ウ

主神紀七 十七ウ 物根旧二 四才 實則神紀七 五才

白世久 三代 廿三才 尽左礼气利 三代十一 八ウ

畏坐左冬止 続四 二ウ 所思行久者 続十 廿一才

政奏比 続三十一 三ノ才 白左附等 式廿一 廿二才

法師二末宇左牟催 老胤 白佐部与度 後五 最勝

太天利之毛世佐良牟風 知々波々

思食オホシノサ 不留 三代甲 十三才 按不ハ左ノ誤カ又思ノスヲヘタルカ

宇礼太左蟋蟀 神 篠 梁作キ 太乃志佐神 篠

止毛志佐乎仏足 催 安名 太不止左也

さうは 飛羅氣佐良万事 竟上

さうける 於夜仁佐利藝留 竟下

さうけり 不穢計利 江談

さうきめ 豊登 給倍 三代其
無止女佐理世波 竟上

さうろ 邑度綿左備須茂 江十
七オ

○ 志

志 立 記上 一オ 枳舸斯題 紀十四 八オ 國造 之式八 世九オ

志 多礼表志 記中 八ウ 夜麻登志 日中 四二ウ 意富岐弥斯 日下 七ウ

志 夜須美斯志 記中 四オ 下シ爲言 志 爲ノシテナリ 不及引證

志 宇岐士摩理 記上 四七オ 志 奉供 礼方 続廿六 之旨 廿四ウ

志 令追 記 令織 日 已上等シメ 志 不ノジナリ 不及引證

志 奉仕 之米天 志 不堪 自加止 続九ノ 十六ウ

志 布多理泥斯 記上 五九ウ 志 和賀淤岐斯 日中 五ウ

志 須賀須賀斯 記上 廿三オ 志 登富登富斯 日下 廿九ウ

志 久夜斯岐 記中 五六ウ 志 許貴太斯 仗 続十 廿四ウ

志々も 三度乞 記上 五十九ウ

志々を 止利之加波 刺擲

志々 積虚曳之介迺 紀十 六オ 佐也尔毛美之加 風 甲斐

志 南北日阡 和十 東西日陌 日上

志り 後 記紀 等 美知能斯理 記五 五六 眦 和 三

志く 泥斯久 記中 五七 宣 自久 結十七 十九ウ

志て 平 シヒラ 介久之天 三代四一 三ノウ 名仁毛世須志天 神 総角

志ふ 願戀 紀十五 十七オ 今按注ニツキシラフイロシラフナトノシラフトセリ

志な 品 紀 等 上件色人 紀十九 廿五オ 志 イシノシ 出伊之部

志 斯々貳暮能 組十六 三ノオ 宇事物 式八 四ウ

志が 之療珥柳枳之餓阿麻離 紀十ノ土ウ 千指按コニ入ル非ナリ

志も 許斯母阿夜尔加志古志 記下 卅オ 加世之毛 催紀伊 風シモナリ

志く 家自 イヘジ 欠続廿九 官家シク 毛シク我シクナリ 志々く 品々 式八 十ウ

志る 其職止在 カニ 志部 苗 俊九 僧綱 今按部ハ都ノ誤歟

志る 爲祢互牟志太夜 井ネテムシ 肥風松浦

志る 刀削遊 カクシクシケレリ

○ 須

不ノズナリ
不及引證

阿礼波須礼杼 記中 四一才

登賀米受而 記上 十八才

雖然為 記上 十八才

伊多氏於波受波 記中 五十

裝之部ニ
イダス

阿比於母波受阿良牟 記下 五ウ

伊理多々受阿理 記下 廿三 枳舉曳孺阿羅每 記十四 廿一ウ

伊志柯孺阿羅磨志 記十四 廿一ウ

若是尚 紀十九 十五才 美阿止須良 仁足 鳥 須良 倭世

伊波多々須 記下 廿六 比例甫囉須 記十九 廿七才

伊幣母始羅孺母 紀苗 東 阿麻哆絆涅受迹 紀十三 八才

麻比須流表美那 記下 廿六才 此心不失 自天 統十七 廿才

加比奈介乎須留也 神 篠波 加比奈介乎須止天 日上一本

許呂佐務若須羅句塢 紀五 六ノ才

乎波奈能須惠乎 逸十六 廿二才 手子 和 梢 日廿

罪 奈倍 賜 比 勘 賜 波須 後廿 按後撰ニマツモヒキワカナモツマ ハウ スト同格ナリ

多賀須伎比良須伎物 北山 此名式ニモアリスハツニ通フ 大章 名カツキヒラツキトホニ日シ

結

言^{イハム} 須^{スベ}部^モ 無^セ為^ム 年^ス 須^ス部^バ 不^シ知^ラ 尔^ニ 統^セ世^一 十五^ウ

末^マ天^テ波^ハ須^ス戸^ヘ難^ナ之^シ 陸^{リク}奥^ウ

御身^{ミミ}不^ア敢^ガ有^ア 礼^レ 統^セ十七^シ 按^ア六^{ロク}ア^レ六^{ロク}ノ意^イナリ

阿^ア波^ハ礼^レ度^ト美^ミ須^ス夜^ヤ 竟^{キヤウ} 下^カ

○ 世

見^ミ曾^{ソウ}加^カ介^ケ尔^ニ世^セ武^ム 催^{サヒ} 高^{タカ}砂^サ 泥^ネ年^ム登^ト斯^シ理^リ勢^セ婆^バ 記^キ下^カ 土^ツウ

加^カ良^ラ乎^ハ支^キ世^セ武^ム也^ヤ 神^{カミ} 韓^{カン}神^{カミ}

所^セ御^ミ佩^{ハカ} 記^キ上^ウ 宇^ウ那^ナ賀^カ世^セ流^ル 日^ヒ上^ウ 七^シウ

三^ミ度^{タク} 世^セ利^リ 統^セ廿^ニ九^ク 世^セ一^{イツ}ウ 於^オ比^ヒ尔^ニ世^セ流^ル 催^{サヒ} 真^{マコト}金^{カネ}吹^{フキ}

止^ト乃^ノ川^ツ久^ク利^リ世^セ利^リ也^ヤ 催^{サヒ} 申^{マウ} 世^セ利^リ岐^キ 三^{サン}代^{ダイ}廿^ニ六^{ロク} 四^シウ

苦^ク瀨^セ 記^キ上^ウ 瀨^セ尔^ニ波^ハ陀^タ々^々祢^ネ止^ド 東^{トウ}廿^ニ五^ゴ 刊^{カン}本^{ホン}夕^{セキ}ラ^ラネ^トアル^ルハ誤^ミ也^ヤ

志^シ毛^モ也^ヤ多^タ比^ヒ於^オ介^ケ止^ト加^カ礼^レ世^セ奴^ヌ 神^{カミ} 賢^{ケン}本^{ホン}

宇^ウ川^ツ良^ラ都^ツ良^ラ世^セ牟^ム也^ヤ 催^{サヒ} 按^アト^トラ^ラサ^ンヤ^ト去^キ所^ヲ 鷹^{トウ}子^シ ト^トラ^ラセ^ンヤ^トイ^ヘリ

奈^ナ乃^ノ利^リ曾^{ソウ}世^セ末^マ之^シ 風^{フウ}彼^カ 乃^ノ行^{ユク} 介^ケ豆^ツ岐^キ齊^{セイ}奈^ナ 紀^キ九^ク 十^{ジュ}一^{イツ}ウ

せらく 告言 世良久 三代十三 十七

せび 微与毛多商勢數 下 竟

せりける 万止為世利計留 神 柵

せ 阿理加用波勢 記上 世オ 和何多々勢礼波 日

せ 斯多備表和志勢 記下 宣去下 榎ヲ 十五ウ 令走ナリ

せらる 多波賀利許度乎勢佐梨勢波 竟上

せよ 也万加川良世与 神 葛

せりむ 虚茂邏勢利祁牟 紀三 七ウ

せむ 倭我弥細磨 紀十七 八 七ウ 前通

○ 曾

ぞ 宇良須能登理叙 記上 廿ウ 異餓幣利去牟鋤 紀十三 十一オ

ぞ 同事叙止 勅而 統三 廿五ウ 万志毛加美曾也 神 木綿作

ぞ 伊麻叙久夜斯岐 記中 五ウ 多愚臂氏序豫枳 紀十一 十一ウ

ぞや 伊川礼曾毛也 神 早歌 ぞむ 初 統紀十 其外不及奉

そば 心荒 比曾波 式八 廿六 真去曾ハ奈カ又ハ勢ノ誤 今按セニ通シテソトモイフカ

そら 妙美之虚空彦者歎 紀二 廿四 此ソラ辞ナラネト後世大空中空 ナト去意ニ引注センタメナリ

雅言通考卷之四

○ 多

たふ 許々呂表陀迹迦記下

た 八田間記上廿八オ
今按田ハツノ通音

たふも 伊莽儂而毛紀三

たる 勝在統十七

たち 等記紀 從婢記五 侍者紀二

君王日九

たまふ 賜天沼矛而言依賜也記上 上ノ賜ハ装ナリ

たふ 可多良能利多布統廿六 万宇之多戸催補

たまふ 聞賜布流三代十三 た 耳聞遊下畧ダニモト

ため 於夜乃多米止 天皇我 御爲日四十八

たふ 國家護我多仁波統十七 和多佐牟多米止仏

たむ 伊余理陀多須記下 御食持須流式八

たむ 阿娑羅你陀々伺紀古 倭我陀々西麻日古

たむ 此遍統廿 此多比日廿六 百廻遊仙

たむら 和主黎多魯羅米逸四

たりや 和須礼太利也駿東 たるを 令皮所載多流

たりふ 曾女加介太利止也催

雅言通考卷之四

結

十六

たり 愛弥詩烏毗儂利毛 紀三 箇區涿夜儂利破 日十一

たり 尔保比多理介利 逸五 たり 上 三代十三 良久 五ウ

たり 和礼母企々多理 逸世 たり 普久聞見 多奈利 三代士 分

たむバ 加世之毛不伊太礼波女 催 紀伊

○ 知

ち 久々能智神 記上 麻呂賀知 日中 足名搥手名搥 日上一

ぢ 意富斗能地神 記上 日子遲神 日上一 按子ハ祖父ノ上畧ニヤ

ち 更名仲子 紀十 按此子ハタリノ約ニテナカアタリ子ト去フ

ちよ 氣佐能阿狹氣奈久知布之賀 逸七 十五オ

○ 津

つ 奥津。天津。底津 記 已上等ノ津ナリ 此外及引證

つら 入賞例 ルタモクツラニ 不入死類 レコロスツラニ 涙 暇午行遊仙

雅言通義卷之四

奏賜都治賜都 統十
廿一

与川万左太女川也 何爲催

つらら 白都良久 記上
十五才

於後手布伎都々記上

于多比菟々紀九
十三ウ

如何爲都々 統後十一
十ウ

つらら 比許豆良比 記上
三十才

伊久用加泥都流記中

つらら 治賜比川 統十七
十九ウ

凍尔閉雀緒 新万

つらら 乍起乍居而紀十五
七ウ

阿娑理逗那偉能古紀十六
三ノウ

つらら 阿素弭尔紀廿七
十四才

干知波志能都梅能阿素弭尔

づ 野捷神記上 足名捷手名捷記上 宣ホコノツハ之
廿一ウ カヨフ辞ナリ

つ 五百津之美須麻流之珠 記上 宣ホコノツハ一ツニツノツナリ
十ウ 今按子ノ同音通ヘルカ

つ 附其弟玉依毘賣而記上 今按此ハナホ装ナリ依テ
五ウ 装ノ部ニモイタシオケリ

つ 多比良波知与止那久波企々都夜逸 廿一
八ウ

つ 於毛飛都留何毛逸 廿一
つらら 比騰源都羅武箇紀廿五
卅三才

つ 加美乃多加良仁伊万之川留加奈神 卅一

雅言通義卷之四

結

十八

牙言... 卷之四

○ 天

而テ 記紀等 和ワ 那ナ 々々 岐キ 氏シ 記中 十ウ 你ニ 播ハ 你ハ 陀タ 々々 始シ 諦テ 紀十 二オ

て 玉タ 手マ 紀四 三ウ 猪イ 手テ 名ナ 交カ 碁ゴ 手テ 西宮 二月 牽ツ 紋ナ 和十一

て 筆フ 和十三 痛イ 手タ 記中 二オ 牟ム 奈ナ 天テ 大歌

で 天津日高日子穗々手見命 記上五十オ 宣シ 出ク 吹ク 八ハ 十シ 通フ 三ニ テモ有ヘシ

で 溝ク 紀五 波ハ 多タ 傳デ 記下 世三 擇ヌ 和ワ 石イ 手テ 堰キ 神社シ 式十 十七ウ

てば 佐サ 泥ネ 斯シ 佐サ 泥ネ 氏シ 波ハ 記下 十六オ 氣キ 吹ク 放ハ 氏シ 波ハ 式十 十七ウ

ては や 津ツ 美ミ 天テ 波ハ 也ヤ 風 記中 十ウ 此コ 過ク 依イ 天テ 也ヤ 続後八 十一ウ

て 宇ウ 知チ 氏シ 斯シ 夜ヤ 麻マ 牟ム 記中 六ウ

で 宇ウ 斯シ 呂ロ 傳デ 波ハ 記中 五五オ 宣シ 説ト 尤モ 詳ナ ナリ

ては 韋イ 泥ネ 氏シ 麻マ 斯シ 母モ 能ノ 記下 廿五ウ 仕シ 奉ホウ 天テ 麻マ 続廿二 廿一オ

て 相ア 見ミ 且ツ 未ミ 之シ 物モノ 乎ラ 続卅七 廿七ウ

ても 奈ナ 羅ラ 倍バ 氏シ 毛モ 餓ガ 望モ 紀十一 十一オ

て あり 佐サ 夜ヤ 藝キ 氏シ 有ア 祁リ 理リ 記上 世七ウ

て あり 佛ブツ 乃ノ 御ミ 袈カ 娑サ 乎ヲ 服キ 天テ 在レ 止ト 毛モ 続廿五 十八オ

で 毗ヒ 礼レ 衣キ 着キ 豆マ 飛ヒ 尔ニ 支キ 度ト 続後十九十三ウ 按テ 清シ 音ニ 訓ト 八ハ 表ヒ 裏シ ノ 夕タ カセ

結 十九

雅言通義卷之四

てり 者 テヘリ 紀十四廿三ウ 其外諸書

てへば 奈止天戸波 ナドテテハバ 風 伊勢人 按天字本未又止ニ ツクルハワロシ

てか 矩你々播枳攀曳底那 クニニハハキコエテナ 紀十四 廿七ウ

てか 飲岐底舸度舸武 オキテカエカム 紀廿六 五ノウ

ても 須衛波婆陀志氏謀 スエハハシテモ 紀十六 二ノオ

てか 奉仕 ソラテシテ 志可等 続廿六 廿二オ

てちり 一柱依 トコヨリテナ 三代土 利ハウ

で 支乃祢牟保利波牟天 キノネムカハリハムデ 神 蟋蟀

ては 左々介天波於呂之 ササケテオロシ 神 藤波

て 作手 ツクテ 式十五 最手 儀九 造御櫛手。織席手。等 相撲 式ニナホアリ

○ 止

と 吾与汝 アトナニウ 記上 老夫与老女 日上 蜈蚣与蜂 日上 廿七ウ

ども 等 ドモ 不及 引證 表登賣杼母 記中 比苔破易陪迺毛 紀三 十オ

とこそ 醉而吐散登許曾 サラストコソ 記上 十八ウ

結 廿

雅言通義卷之四

須ス久ク々々止ト 記中 斯シ志シ麻マ都ツ登ト 日下

知チ杼ト理リ麻マ斯シ登ト々々 記中 那ナ波ハ伊イ布フ登ト母モ 記上

朕レ卿ニ止シ爲シ而テ 統三 人ニ止シ之レ天ヲ 政止シ志シ天ヲ 已上 統紀

何ニ怨ム所ニ 止志 統廿 國ノ老シ 止志 統後

不レ樂ム伊イ末ト 佐倍止 統廿七 千チ位キ置キ戶ド 記上

布フ刀ト御ミ幣ヘ登ト取リ持テ而テ 記上 比ヒ流ル波ハ 記中

那ナ迦ガ士シ登ト波ハ那ナ波ハ伊イ布フ登ト母モ 記上 國ノ津ツ罪ヰ 止八 式八

阿ア礼レ波ハ須ス礼レ杼ト 記中 虚コ々々呂ロ破ハ望モ閑ヘ耐ト 紀十一

加カ是セ布フ加カ牟ム登ト曾ソ 記中 保ホ呂ロ夫フ止シ曾ソ伊イ布フ 仏足

共トモ不レ及ズ品ヒ部ブ 紀六 宇ウ加カ比ヒ賀ガ登ト母モ 記中

干ク摩マ譬ヒ菩ト奴バ知チ 紀九 共トモ不レ及ズ引引證證

初ハ發シ之ノ時キ引キ上上時ト 已上 挿頭之部ニ

時トキ不レ及ズ引引證證 至トキ斯シ去キ々々果カ有リ大オ蛇ヘ 紀一

阿ア理リ登ト伊イ波ハ波ハ許コ曾ソ 記一 國ノ家ノ大オ楯タテ 慶安 三代土

阿ア岐キ豆ツ志シ麻マ登ト布フ 記下 未マ名ナ年ネ須ス女メ止シ以テ戶ヘ 我門

太タ上シ天テン皇ス 止伊 布 號ナメ 三 我 十五 未マ名ナ年ネ須ス女メ止シ以テ戶ヘ 我門

佳言通義少卷之四 結 廿一

牙言正事才考之口

とや 瑜^ユ屢^ル世^セ登^ト耶^ヤ弥^ミ古^コ 紀十六 加^カ奴^ヌ止^ト也^ヤ支^キ美^ミ加^カ 風

と 干^ウ魔^マ伊^イ祢^ネ矢^シ度^ト你^ニ 紀十七 按^ア引^リト^トキ^ノ 七ノウ 畧^リナリ

とも 柯^カ微^ニ騰^ト母^モ柯^カ微^ニ騰^ト 紀廿四 十四ウ

と 行^ウも^ウ信^シ日^ニ右^ヘ と 意^オ富^ホ斗^ト能^ノ地^チ神^{カミ} 記上ウ 所 廿四ウ

ともも 撫^ハ賜^ヒ 奈母 統一 と 試^シ定^{テイ} 止 斯^ス伊^イ波^ハ 婆 統十 廿四ウ

とのこ 直^タ遊^ニ 止乃味 不在 統五 と 爲^ノ親^ニ 奈和 八ノオ 統廿二

とらら 不^ル成^リ合^ハ度^ニ 記上 布^フ美^ミ志^シ阿^ア止^シ夕^ト巳^ロ呂^ロ 仏足 統廿 十オ

とらふ 躰^カ灰^ト共^ト 去々名 波^ハ烟^ニ 止 共^ト 尔 統廿 十オ

とらう 知^ル子^コ者^ハ親^ニ 止 去 母 統世六 廿ノオ

とて 於^オ岐^キ那^ナ度^ト天^ラ和^ワ飛^ヒ夜^ヤ波^ハ遠^ラ良^ラ無^ム 統後十五 三ノウ

ともふ 挿^カ頭^トノ部^ニ イダス ともか カラノ件ニ イダス

とふ 教^ハ賜^ヒ 比^ヒ趣^ク賜^ヒ 布^フ止^ル 有 良^ラ志^シ 統十五 四ノオ

とらふ 久^ク保^ホ能^ノ奈^ナ表^ヤ波^ハ奈^ナ尔^ニ止^ト加^カ伊^イ布^フ 催補 鶏鳴

とらふ 天^ス皇^ス幼^シ少^シ久^ク御^ミ坐^マ 止 伊^イ倍^ヘ止^ル 毛 三代八 一ノウ

と 天^ツ下^ク乃^ノ公^ク民^ニ 乃^ノ作^ス作^ス物^{モノ} 乎 式八 十オ

とらふ 奉^ル出^ス給^ム 牟止須流 間^マ 尔 三代十三 十二ウ

唯言通我少卷之四 結 世二

和言通章オカ者之口

和多須登傳那理 竟上

依例 天奉出給 无止世之尔 三代廿六 四ノオ

○ 奈

真名井 記上 手末 日上 掌中 紀一 真名鹿 日 廿六ウ

久羅下那洲 記上 如枯山 如狹蠅 記上

莫視我 記上 莫使入 日中 四三ウ

末祢那加利曾也 風 鴛鴦

在 不及引證 吉備那流伊慕隴 紀十 九オ

阿米那流夜 記上 中 記紀等 不及引證

任。隨 巳上 作 三代 淳中倉 紀十九 淳中原 日共 一オ

神奈我良 母 統四 十六ウ 挿頭之部ニイダス

和賀美岐那良受 記中 雖有 記上 世八オ

至干三年 記上 雖已三歲 紀一 八ウ

佳言通章オカ者之口 結 廿三

ちり 椰磨等那殊於朥望能農之能 紀五ノ四ウ按此ナス存
ノ意トス誤日本成ノ意ニ

ちり 伊芽諾伊芽冊 記一 沫蕩 紀一 頰那 記上五ウ
上神名

ちり 句倍枳豫譬奈利 紀十三
七ウ

ちり 那久那留登理加 記上 ちり 令取茲成種 記上

ちり 伊装佐伽麼曳那 紀十
五ウ ちり 依天奈利介利 三代十一
ハノオ

ちり 阿夜尔那古斐岐許志 記上 捨麻須志 紀十
廿五ウ

ちり 将罷 記上 用波伊傳那牟 日上
世一オ

ちり 以在々者祢奈无也 東駿

ちり 惠賜 比 撫賜 卒止奈母
此辞統紀ニ多シ

ちり 伊弟由介那 紀五
四ウ 伊装阿波那 日九
十ウ

ちり 攻戰者 記上 吾加久不申成 奈波
紀二
八オ

ちり 先朝乃御時奈良末之加波 江談

ちり 海人乎 記中 有海人耶 紀十一
四オ

ちり 迦豆岐勢那和 記中 宣去此ナハムニ日シ セムヲセナト去例多シ

ちり 臨其樂日 記中 ちり 枕摩儺羅 紀十六
二ウ

ちり 鶴奈良奴祢波 竟下 ちり 奈利也之名末之 備
山城

毎夜ヨナク 紀土 十四ウ阿瑳儼阿瑳儼アサナ アサナ竟下

淤等娜比オホトナヒ 紀ニ 十九ウ阿豆那比アツナヒ 日九 七ウ

理可在シナレ 等 統十七 十七ウ異イニ 奈オモ 比 統廿七ウソヲ異セル例ナリ

鳴思稽矩謀那斯ナシシクモナシ 紀市 廿オ大法師オホホシ 奈良年 三代四一 四オ

氣那賀久那理奴ケナガクナリヌ 記下 十六オ過那南スキナノム 新万下

加久不申成カクフシナリ 奈波 統廿二 八ノオ不受賜成ウケナシ 成 統廿一 十六ウ

久波也古々奈利也クハヤコハナリヤ 神 星阿避於謀婆儼俱你アヒオモハナクニ 紀十六ニウ之加川介那久尔シカカウケナクニ 神 酒殿

日右

舍耳遊

示給物在シケルモノ 在 自 統十七 十七ウ竟賦奈礼度イハレナレド 竟下

禍息ワタクシ 互 善成 去々 統十七 十七ウ宣去成ノボラセ 備之意也

於夜那斯尔那礼奈理オノヤナシニナレナリ 紀廿二 十七ウ雞迷夜ニシメヤ

國家不亂クニナラズ 奈理尔太利 統後十二 廿八ノオ安免毛布良奈無ヤスミケヌラナシ 催補 妹門

与須加止奈礼利ヨスカタナレリ 仏安免毛布良奈無ヤスミケヌラナシ 催補 妹門

名波乃川不良衣乃安支奈礼波ナハノツクラフエノアキナレバ 風 月面

阿波麗那礼波夜アハレナレバヤ 竟下

○ 迹

於不及引證多具理尔記上六ウ豫呂豆余珥記廿一十五ウ

用珥波虚々能用紀七十六ウ於頭者大雷居記上九ウ

布斗麻迹尔ト相而記上十ウ於後手同上十ウ

塩許表呂許表呂迹記上ニウ玉緒母由良迹同上十三ウ

奴珥比蘆菟跡珥組十ウ天能彘和尔式八卅八ウ

都紀多知迹祁理記中四ウ阿開你磨梨紀十七八ウ

志多々尔毛記下十七ウ阿佐妬珥毛紀五ウ吾旗尔母 統廿十三ウ

神夜良比尔夜良比記上十四ウ佐賀美尔迦美而同上十五ウ

那杼理尔阿良牟遠記上卅ウ

知杼理迹阿良米記上卅ウ

宇迦々波久斯良尔記中廿二ウ農殊末句志羅珥紀五十六ウ

おや 天々仁也波天仁也波天々耳

神 大宮

おやを 日右

お 賣迹志阿礼婆

記上 廿ウ

お 阿那迹夜志

記上 三オ

お 伊夜表許迹斯氏

記中 五ウ

お 宇比地迹神

記上 今按コレヲニハヌシヲ約メテ

おや 於費異之瑁夜

おあり 在其中

あつら 秋風之吹仁付天毛

江談四

おきと 阿由比能古須受淤知尔岐登

おと 宇边々波久斯良尔登

おあり 比登迹阿利勢麻

記中 四ウ

おあり 辞立不在

続四 三オ

おあり 孰尔加毛

続三 十四ウ

おあり 登許余尔母加母

記下 廿六ウ

おが 和岐豆紀賀斯多能伊多尔母賀

記下 廿一オ

おあり 淤伊迹祁流加母

記下 廿五ウ

おあり 室在 羅之止

続四 六オ

おあり 朕波良何良仁在物乎夜

続廿二 八ウ

おあり 猶在 倍伎物尔有 礼夜止

続十 廿六オ

ふくし 聞キ惡事ニクキコト之言ノ坐婦人乎ノ 紀九七ノ

ふ 齡乃弱弱キ尔ニ荷重キ波波不堪タヘ 自自加加止止 統九十六

ふありき 詐仁在在家利止知天統 統廿五十七

ふあれき 伊賀尔布久賀是尔阿礼波安可後 紀十七十八

あとなり 爲親奈利ハ 統廿二ハ 多多例例柯威尔武 紀廿五廿六

ふ 安之太尔止利与宇催刺刺 櫛

ふ 青玉能水江玉乃行相尔式 八四十

ふませ 天火尔未礼人火尔未礼三代廿八十一

あありき 都知仁波阿利登毛後 紀十三廿五

あありき 麻礼尔母阿留可毛仏 足

あく 年毛弥高成尔 豆統 廿六三十

ふたり 一時烧尽尔 太三代廿六十一 多多加加与与二二加加 神賢 木

ふし 不利尔之和礼乎催 浅水鎮 仁出 風秋 鹿此 八八 通通 三三 毛

あありき 安也万利仁之与利神 階香取

ふはりき 海之流勢留舟丹佐里介留新 万下

牙言... 卷之四

○ 奴

如此白訖記上 和例破椰隈怒紀三 年月積奴 統十

伊天々和礼泥奴也催補河口

磨陀左积涅渠農紀廿五

罷麻之奴 鏡世一十五ウ 罪尔伏奴良志 統廿ノ

比登斯理奴倍志記下 阿介奴止毛陸奥

知利曾之奴陪岐逸六 壁言等資利奴陪路紀十三

加計呂止奈岐奴奈利神酒殿

古母知麻知也世奴良牟催補

伊万毋奈可奴加逸五 矢出風大原此又子記紀

波夜母阿氣奴賀母也常風

○ 祢

訶志古泥神記上 高日子根神日上 按味不ハナセノ

結 廿九

孫 宇知夜米許世泥記上 世オ 汝女芽岐等羅佐泥紀十一 十六オ

孫 伊麻陀登加泥婆記上 世オ 梅珥志弥曳泥麼紀九 二ウ

○ 乃

の 多久豆奴能記上 世一 志多陀美能日中 此ハ甚多 七オ 余不及證

の 天地初發之時記上 一オ 天之御中主神同上

の 宇麻能耶都擬紀十四 年乃六年 乎 續十 廿五ウ

の や 阿符美能野紀十七 十セウ 須加牟良乃也風 菅牟良

の ん 木花之阿麻比能微記上 四九ウ 多儂比等用能未紀十三 八オ

の や 一人ヒトウ 也 乃 未 慶 之 岐 續十七 十九ウ 聲持之子記中 四オ

の 燒鎌乃敏鎌以氏 式八 廿オ 言依奉乃隨續十七 廿七オ

の 太比川留安乃乃神 殘 體 僅 のが 美毛止乃加太知催 淺水

の 乎之乃加毛止利催 何爲 のと 布由紀能須記中 五七ウ 冬木如也

の や 阿奈美久留志乃風也江談 一

の 氣菟能和區具能紀廿三 七ノア 按今俗ニガト去 ベキ所也

のそこを 獨能美許曾坐 世 統後六 十七ノオ

の 和賀由久美知能迦具波斯波奈多知波那波

右記中五六オ 按句ヲ夕テ、受タル例ナリ

のそり 七人 乃味之天 統廿五 宜去土人ノサマシテト 廿五オ 去ヲアヤマルル欵

のそりあび 朕時 乃未尔波 不有 統十 廿五

は 者 不及引證 阿波母与 記上 世二ウ 許能源积破 紀五 四ウ

はや 阿那陀麻波夜 記上 四一オ 和礼波夜意奴 日中 七オ

は 倭我伊麻西磨 紀十四 八ノオ 由希体礼婆 記中 一オ

はら 毫毛 紀十三 八ウ 比呂波加利也 催 三日波駕利 竟下 總角

はく 宇迦乃波久 記中 世二ウ 賜波久止 統四 六オ

は 波那美波志比斯那須 記中 宣說齒並喙也ト云ル誤今按 世九ウ 万二開ハシヨシモ路ハシ遠ク不辭

はさま 乃樂能波婆安摩你 紀十六 三ノオ 滑谷崗 紀廿四 十四ウ

をむ 多例椰始儺播務 紀十一 十オ 美也知加与波牟 催補 貫河

ば 美陀礼波安美陀礼記下 与世波与世越方

は 拒却介賜波須在三代十六

は 間人皇女紀廿一 床席頭端日廿七

は 土齒池肥風 每年記中

は 和賀都麻波由米記下 装之部二

は 治賜波奈止統十五 止乃者良東駿

は 美都々志乃波牟食 覆之面葉北山御元服

は 和例鳥斗波輪紀土 挿頭之部二

は 斗比斯岐美波母記中 伊徒姑播茂紀九

は 佐可止乃波介佐波奈波岐曾神酒殿

は 黄疽和

比

ひ 御産巢日神。禍津日神。直毘神。已上記上

ひ 弟日僕紀十五 重日日十七

雅言通書抄卷之四

ひま 壻閣之際紀七 恒伺間隙凡十一

ひ 畝傍山紀三 辺ニ通ルカ 大毘々命記中十五才

ひ 枝和 荒備流統四十五才

ひ 詔賜比志ル 統九ノ十七才 び 鹿備式八

ひふ 日右

○ 布

ふ 耶賦能之魔枳記六 ぶふ 淤曾夫良比記上

ふり 装之部ニイダス ぶろ 道速振荒振式八

ふり 大角一節儀ハ 鼓吹

○ 閑

へ 重八重九重ナド 夜幣記上 賀岐世三ウ

べ 御枕方。御足方記上 山辺。床辺。宮辺已上記此類

結 三十四

倍^レ宜。應。當 諸君多シ不及引證
倍^レ々加閉波 記上七才

倍^レ々兵船必來 倍久逸十三ウ
猶在 倍伎 統十 廿六ウ

未遠聞食 倍喜乎 三代四十四 十七ウ

那^レ你波女陸武岐底 紀十九 廿七才
母登幣波 記中 六十才

夜麻登幣迹 記下 三才
多陀用幣流 記上 一才

令作竟賜 倍利 三才 土才
念倍流仁 統十七 十六才

御酒當給 江二 五三ウ
不^レ宜 記中土ウ 此外多不及證

大羽振邊 紀七ノ 廿一ウ
倍^レ有 倍加利 三代四六 二才

大^レ苦邊尊亦日大^レ戸摩^レ姫尊 紀一 按コレヲ以テ三ノ此ハヒクノ約リタルコト也

那^レ羅陪務^レ菩^レ虛^レ層 紀十一 十一才
念良末久 統廿五 廿六ウ

引結幣魯 葛目 廿才
負賜 統十七ノ廿八才

顯自示給 礼婆 統十七 十七ウ
福波倍 統四ノ 五ウ

伊波能杯尔 紀廿四ノ 石上ニナリ

客人倍 統後土 一ハ等ト去類ニテ良ト去 ヨリハ少シ敬重ノ詞ナリ

那^レ々都義乃与尔都加倍留 統後十五ノ三 按ルハフヲ逸テ去也夕ヨルカハルノト不同

見也戸末井良牟 風荒

雅言通車抄卷之四

於毛布倍良奈留 竟下

保

波穗 記上 久尔能富 日中 五四才

謀之間 記中十才

美賀本斯久迹波 記下 五才

保根茂苔陪之 紀九才

家辺 記中 山傍 紀七 廿才

赤丹穗 聞食 式八 五ウ

文申上事骨 江九ノ二 因十才モアリ

麻

坐 記紀等 不及引證

伊麻勢波安夜 記中 天降 利坐 志々 統後十九 十一ウ

任奉 麻佐部流 統世 何陪理伎未勢止 逸十二 六才

座坐 統廿一 阿朱与支未勢流 風 七ウ

伊都閑黒益之 式八 廿八才

結 三十六

まろで 至マデ記等 八舉ヤツカ垂タル摩マ氏シ 記上 十四ウ

まろふ 今イマ至ル麻マ豆ト尔ル 統ト 一ウ

まろふ 隨ス 記紀等 不及引證

まろふ 布フ斗ト麻マ迹ニ 記上 三ウ

まろふ 心ココロ乃ニ麻マ尔ル麻マ 統ト 三ウ 八ウ

まろふ 已イ々々呂ロ乃ノ麻マ真マ丹ニ

まろふ 任ニ 隨ス 記紀等

まろく 那ナ賀ガ那ナ加カ佐サ麻マ久ク

まろく 農ヌ殊ス未ム旬ク志シ良ラ丹ニ 記上 世二ウ 六オ 紀五

まろほ 和ワ加ガ名ナ乎ハ之シ良ラ方マ久ク保ホ之シ加カ良ラ波ハ婆バ

まろほ 催メ 我ワ門カド

まろ 伊イ能ネ致チ志シ儺ナ磨マ志シ

まろ 紀キ十四 世一ウ

まろと 多タ知チ波ハ氣ケ麻マ斯ス表ヒ 記中 四二オ

まろ 阿ア斯ス布フ麻マ須ス那ナ 記下 十ウ

まろ 折セ砥チ見ミ芝シ間マ丹ニ 新万上

まろ 讒ソコト言コト 記上 世二ウ 按引證

まろ 折セ砥チ見ミ芝シ間マ丹ニ 新万上

まろり 謹ツシ麻マ利リ 統世ノセツ カニヨリハ装部ナリ

まろり 魯ロ士シリリ百ヒャク年ネンニニリ ナトノリ也

まろもの 韋ヱ丘キ氏シ麻マ斯ス母モ能ネ

まろもの 記中 世五ウ

まろものを 安ア波ハ万マン之シ毛モ乃ノ乎ハ

まろものを 催メ 高タカ疎ソ

まろり 持チ由ユ麻マ波ハ利リ 式八 六オ 清キヨ麻マ波ハ利リ 日八 世四オ

まろ 間マ 記紀等 不及引證 真マ途ト國クニ

まろ 間マ遠トウ同トウ近キンキキナナトト去キヘリ

まろろ 加カ々カ良ラ麻マ志シ加カ波ハ 江終 五

まろろ 知チ 未ミ世セ渡ワタ 統ト世セ七シ 世七ウ

まろろ 加カ々カ良ラ麻マ志シ加カ波ハ 江終 五

まろろ 知チ 未ミ世セ渡ワタ 統ト世セ七シ 世七ウ

豫屢麻志枳箇破能區莽區莽

紀十一
十三ウ

倭須羅度麻肯珥

紀廿六
五ウ

敢赤之時為

止
廿一ウ

宜相見日尔至万豆波

統後十一
十ウ

○美

忍總耳命

記上
十六ウ

八耳神

日二
廿ウ

布帝耳神

日二
廿四ウ

八島士奴美神

記上
廿三ウ

總々手見命

日二
廿五ウ

波陀阿可良氣美

記中
五五ウ

夜麻陀加美

記下
十五ウ

宇流波志美意母布

記中
五七ウ

久良波斯夜麻表佐賀志美登

記下
八ウ

天地乃宇倍奈由流

統廿六
十一ウ

女止去波婆等美夜我加久去

統十
廿五ウ

勞美威美

統四
二ウ

幸媿奇媿

紀一
廿八ウ

遠遲那美許曾

記下
世三ウ

命尊

記紀

尊
紀等已上
不及引證

藥方

記下
十五ウ

麥奴

和名十七
三ハアリノ約ナリ

雅言通事卷之四

○ 武

む 宇知氏斯夜麻牟 記中六ウ 阿米多知夜米牟 日下十六ウ

ひと 多陀尔阿波牟登 記中九オ 都毘迩斯良牟登 日下十オ

むよ 拖例柯々該武豫 紀古世オ 天地之共長遠 続四二オ

むそ 伊賀幣理計牟叙 古下十七ウ

○ 米

め 伊奈志許米 記上十一オ 阿佐米余玖 日中三ウ 葛目 式八廿オ

め 冰目矢 記上廿六ウ 宣去氷ハ羽ノ誤カ 志言 記上十一オ

めや 和礼和須礼米也 記下三ウ 阿知女 神アギノ 別ニ考アリ

める 既有好意遊 ニハメキ 長女柏 式四十十一オ

め 与留波佐祢女 神大宮 梁サネテニ作ル

めは 所知看。聞看。所知食 已上記紀等

弥都波能賣神 記上 六ウ 伊豆能賣神 日上 上オ

碓女 ウスマメ 哭女 ナキメ 日牛 按皆群ノ約ニテ 四十オ 何部ト去ニ日ン

八重組垣笥々梅騰謀 紀十 六十ニオ

阿曇目 アツミメ 紀十二 見林去後世罵人 五オ 日目盖起于此

毛

是亦 コモ 此島亦 ノモ 已上記 猶多シ 佐斗毘登母 サトヒトモ 記下 十六ウ 此外畧ス

以不及用此 モテ不及モテ用此 紀一 世セウ 久毛茸多知久毛 クモモシタチクモモ 記中 四三オ

加微能美氏母知 カミノミシノチモチ 世オ 阿波母与 アハモヨ 記上 世二ウ

母知互許麻志母能 モチナヒコトマシモチノチ 記下 十一ウ

治將賜物 チシヤウモツモノ 曾止 統一 二ウ 賜倍岐物奈利 モツヒサキモノナリ 三代十七 十三ウ

志奈々支毛乃遠 シナナキモノトウ 神行 倍岐物 奈利止 三代世八 十ノオ

宇礼多久母 ウレタクモ 記上 世オ 溺我保指母能渡 ヌカガホシシモチノチ 紀十五 八ウ

阿比娜謨儺俱母於母保喻屢柯母 アヒナダモチナクモチオモホユルカモ 〇も〇も

多怒斯久母阿流迦 タヌシクモアハルカ 記下 三ウ

も六 和賀毛古迹許牟記中 奈才
も〇も 進母 不知退母 不知続九 十七ウ

もと 御所記上 摩下紀七 常在オキテ 左右モト 紀六 一ウ

もが 迦久母賀登阿賀美斯古迹記中 五五ウ

もが 日右 訶句志茂餓茂紀二 十五ウ

もころ 夜者若燦火而喧響音之紀二 十八ウ

も 八維紀十四 八方日十七 四表日十九 此毛八面上畧ナリ 四一ウ

ものちし 顯自 示給夫物在自 等続十七 十七ウ

ものろ 因オノ 已物紀十一 歛咲遊シタユルチカラ

ものよ 朕波良何良尔在物乎夜続廿二 八ウ

ものちち 可受賜物 奈利世波続廿二 廿一ウ

ものふね 女波伊波女礼 物尔阿礼夜続十七 十九ウ

ものふり 禁給幣流物仁在続廿二 十八ウ

もあり 供奉礼 留所母 安利三代世八 九ノウ

もありき 御命母 安利三代世八 十ノウ

もかか 多知毛可奈神 劍 もと 爲禍害之藪紀七 十一ウ

もかか 之留久毛可奈也東駿

ものきび 獨知倍仗物不有統十 廿四ウ

も 惠曇郷出風 秋鹿 惠杼毛社月上此ハムヲモト去例ナリ

もくそ 人毛已曾美礼神 酒殿 祈布母加母記下 廿ウ

もや 奴由良久母夜記下 廿五オ

○ 也

や 乎哉記紀等 不及引證 於志氏流夜記下 三オ 和餓末菟夜記三 六オ

や 亦有可白子哉記上 卅ニウ 不聞看夜統廿一 十四ウ

や 那須夜伊多斗遠記上 廿オ 和礼也比斗川麻催 東屋

やる 和加夜流牟泥遠記上 廿オ や 与利已夜比波利神 静屋

やの 伊刀古夜乃伊毛能美許等記上 廿二オ

や。ひ 那賀美古夜都毘迺斯良牟登記下 十オ

や 等虚評陪迺枳弥母阿閑椰毛紀十三 八ウ

やも 日右按此ハ願クヤナリ 皆工織ノ受ル例也 やー 波斯祈夜斯記中 四三オ

やん 朕一人夜波 貴大瑞 乎受賜牟統十七 十七ウ

や 加比也カヒヤヒロ比呂波牟ヒロハム太万也タマヤヒロ比呂波牟ヒロハム 催 伊勢海

やどく 可絶其家門カセキヤカド 夜止ヨト 爲シテ 奈母ナモ 続廿ツグニ

やはらぬ 美古仁波也良奴ミコニハヤラヌ 竟上ス 按峽ハヤハヤハノ轉倒シタム
ハノ引ニテアヲ畧ケルナリ

○ 由

自ミ 不及ミ 和藝ワゲイ 幣能ヘノ 伽多由カタユ 紀三キミ 自手候漏出血此自ヨリト
引證ミ 訓タレト語勢ユト訓ヘキカ

虚能コノ 芥由毛カイユモ 紀三キミ 比登波加由登母ヒトハカユトモ 記下キゲ

常夜往トコヨユク 記上キミ 長往チヤウ 紀五キミ 和賀都麻波由米ワガツマハユメ 記下キゲ

故由コユ 不及ミ 迹具漏岐由惠シヅクノキユエ 記中キナ

故思コシ 磨古喻衛尔マコヨエニ 紀十四キミ

高御座タカミクラ 尔坐ニイサ 由利ユリ 続十ツグジウ 此ユリハヨリナリ万ニ
廿才ニジウ アスユリヤトヨメリ

○ 与

よりて 因ヨリテ 依レ 記紀等不及引證

よりて 日右

よ 許能麻用母ヨモ 記中七方ヨハヨリ畧之

よやふ 与也ヨヤナ 夙小車

よ 斯毘都久阿麻余シビツククアマヨ 記下記下

よ 都紀多々那牟余ツキタタナムヨ 記中記中

よや 太々良古支比与也タハラコキヒヨヤ 神得錢子与考改作牟太々考作安太

より 自國常立神ヨリニオ 記上記上 從沙本方ヨリサホカタ 記中記中

よりハ 阿須用理波アスヨリハ 記下記下 三度ミヨリ 紀世一紀世一 兩度フタヨリ 日世二日世二

より 常ヨリ 利別仁在故ヨリトニオ 方カ 統廿六統廿六

よりハ 常奉見ヨリトニオ 余利波ヨリトニオ 統廿七統廿七 叔父美濃公ヨリトニオ 与利毛ヨリトニオ 三代四六三代四六

よりハ 時与利曾ヨリトニオ 立竟下立竟下

より 阿表迹余志アヲニヨシ 記下記下 波辞枳豫辞ハシキヤシ 紀七紀七 按ヨトヤ按ヨトヤ 相通也相通也

○ 良

らま 區珥能摩保邏摩クニニノマホヲマ 紀七紀七 太命タノミ 良麻ラマ 統一統一

らー 不平坐良志ヤクサミマスラシ 記中記中 猿女君等サルメノノラ 記上四八ウ記上四八ウ 此外不及引證此外不及引證

らー 淤岐米久良斯母オキメクシモ 記中記中 与之已左留良之也ヨシコサラルラシヤ 催催 我門乎我門乎

らせ 登与美岐多^{トヨミキタテ}麻都良世^{マツラセ} 記上 世三 赤由川久良世天^{アカユツクラセテ} 催 走并

らく 白都良久^{マラシツラク} 記上 十五 ら 宇摩羅珥^{ウマラニ} 紀十 八ウ

らくと 許呂佐務苔須羅句^{コロサムトスラク} 紀五 六オ 授未都良久止^{チマソクラクト} 統廿 一八オ

らくい 称辞竟奉^{クハベトハラセ} 久波^{クハ} 式八 廿ウ ら 辞豆曳羅波^{シツエラハ} 紀十 五ウ

らひ 美多迹布多和^{ミタクニフタワタ} 多良須^{タラス} 記下 三オ

らよも 和賀氏登良須母^{ワカテトラスモ} 記下 三オ

らめ 都麻母多勢良米^{ツマモタセラメ} 記上 廿ウ らむと 伊积羅牟苔^{イキラムト} 紀十一 三ウ

らふ 宇迦々波久斯良尔^{ウカハハクシラニ} 記中 廿ウ らけり 波陀阿可良氣美^{ハタアカラケミ} 記中 五ウ

らぬ 訶區多智豫羅泥^{カクダチヨラネ} 紀十三 廿ウ らひ 伊由岐麻毛良比^{イユキマモラヒ} 記中 七オ

らどか 豈無國欵^{ナカラシクニ} 紀一 按ナカラムヤト訓タレトモ 三ウ ナカラシカト訓ハシ

らき 兔伽破須羅志枳^{ツカハスラシキ} 紀十一 六オ らむや 豈無國欵^{ナカラシクニ} 紀一 三ウ

らへる 仕奉^{シホム} 賈流 統三ノ廿五ウ 按賈覇誤 らと 憚^{ヲド} 良礼來^{ラレキ} 礼留 三代七 十四ウ

らまき 天下百姓^{テンカヘマツラム} 能念 良麻久母 耻止 統世二 十二ウ

らむ 阿止乃祁留良牟^{アトノケルラム} 貨^{ツカ} 赤川良牟比斗乎^{アカカワラムヒトヲ} 催補 我駒

らむ ツカヘマツラム 紀廿二 十六オ

○ 利

りつ 阿婆理逗那偉能古紀十六 按リズルヲ延テ去ヘルナリ

○ 流

る 諸神天神俗云謂賀味苗 常風

皇親神留伎命。皇親神留弥命古拾一

○ 礼

しり 吾与汝所造之國記上 九オ 伊麻毛乃已礼利仏足

しり 阿表加岐夜麻基毋礼流記中 四ニウ

し 美陀礼波美陀礼記下 十オ 余理涅氏登富礼記下 十七ウ

しハ 院餓能朋例磨紀上 十オ 鎮奉礼止 式八 廿七オ

しり 伊賀尔布久賀是尔阿礼波可逸士六 廿二オ

しり 奉供礼方之曾 統廿六 廿五オ 那例々騰毋紀廿五 十五ウ

しり 其仕奉礼良牟 状隨統一ノ 二ノウ

し 御身不敢賜有礼 統十七 此アハアバノ意ナリ本段ニ 廿七ウ 作ルハ誤ナリト宣イヘリ

雅言通釋卷之四

進 礼良久乎 式十二
三ウ

○ 呂

あ 淤能基呂島 記上
ニウ 妹盧豫嗣尔 紀二
ハノオ

ろ 安佐古久乎不祢佐志与勢呂 風之太乃浦

ろふ 波比母登富呂布 記中
セオ 表陀氏呂迦母 記下
五オ

ろぞ 久尔能麻本呂波 記中
四ウ 淤呂須波多 記下
ハオ

ろ志も 異枳迺保呂之茂 紀九
十ウ

○ 和

わ 迦豆岐勢那和 記中
五十ウ 宜去ワハ 我ナリ

わ 埴輪 紀六
十オ 河曲 和
五 わさり己未乃和太利 催
山城

わき 竈傍 紀十五
六ウ 腋手 江
八

○ 爲

雅言通釋卷之四

結

四十六

○ 惠

愛俱流之衛阿礼播俱流之衛 紀廿七 十八才

○ 遠

於頰比遠母 記上 世オ 草之垣葉 甲七 式八 世三才

許遠波 記上 世ウ 倭我堤鳴麼 紀十七 七ウ

愛表登古表 記上 世オ 阿勢表 記中 三通ヲナリ 四才 吾思ヨ意ナリ

和餓鬼摩手烏由梅 紀十三 八ウ

牟加閉表由加牟 記下 十八才 牟緒長 統十 廿四才

多礼表志摩加牟 記中 八ウ 天下乃事 乎夜 統十 廿四ウ

何良蘓波受泥斯久表斯叙母 記中 四十二才

吾子爲而皇太子 止 定 五 統廿二 七ノオ

許登表許曾須宜波良登伊波米 記下 七ウ

久良波斯夜麻表佐賀志美登 記下 八ウ

天 波 吟 琵琶 曾 打 那 流 十八ウ 多那津毛能乎曾 竟上

是王當于其時而遊其殿下 記下 十九ウ

